



2026年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年8月4日

上場会社名 株式会社ユーラシア旅行社

上場取引所 東

コード番号 9376 URL <https://www.eurasia.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 井上 利男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 杉浦 康晴

TEL 03-3265-1691

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績(2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	4,104	19.7	49	—	58	—	63	—
2025年9月期第3四半期	3,429	5.3	52	72.3	67	8.7	56	8.0

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 53百万円 (—%) 2025年9月期第3四半期 84百万円 (30.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	17.34	—
2025年9月期第3四半期	15.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	3,048	1,610	52.8
2025年9月期	3,219	1,844	57.3

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 1,610百万円 2025年9月期 1,844百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	7.00	—	24.00	31.00
2026年9月期	—	25.00	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	5,660	18.2	0	—	8	—	10	—
								2.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年9月期3Q	3,690,000 株	2025年9月期	3,690,000 株
2026年9月期3Q	26 株	2025年9月期	26 株
2026年9月期3Q	3,689,974 株	2025年9月期3Q	3,689,974 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、各国の通商政策、地政学リスクの高まり、世界的なインフレーション等により、マクロ経済指標に不確実性が高まりつつある環境にあります。とりわけ、2026年2月28日に米国・イスラエルによるイラン攻撃により、不確実性の一部が顕在化するとともに新たな不確実性も生じております。このような環境下にあるものの、物価のみならず賃金の上昇も続くなど、経済全体としてはなだらかな成長を維持しております。

当社グループにおきましては、おかげさまで、当連結会計年度の2026年2月13日に創業40周年を迎えました。当連結会計年度は創業40周年を記念し、40周年にちなんだ旅行商品のラインナップの充実を図り、前連結会計年度以上に営業収益及び営業利益の向上を目指しております。そのための施策として、広告宣伝費を増額させるとともに、設備投資計画を進め、また人材の積極的な採用も続けております。

第1四半期連結会計期間の各月の営業収益は、40周年記念商品による上積みもあり、前年同月を上回りました。とりわけ、10月度の海外募集型企画旅行に関しましては、参加者数12%増、旅行単価5%増と前年同月比で大幅な収益増となりました。

第2四半期連結会計期間においても、連結営業収益増加の勢いは続いております。2026年2月28日の米国等によるイラン攻撃の影響を受け、一部ツアーの催行を中止したものの、第2四半期連結累計期間の営業収益は、前年同期比11.2%の増加となっております。その一方、営業利益に関しましては、米国等によるイラン攻撃の影響を受けた旅行中の顧客の安全な帰国のための経費を負担するなど追加の費用が発生した他、期初からの円安傾向による仕入原価の増加の影響もあり、第2四半期連結累計期間の営業利益は前年同期比減益となりました。

当第3四半期連結会計期間において米国等によるイラン攻撃は終結しておりませんが、第2四半期連結会計期間末においては不確定であった影響について、徐々に明確になってきております。すなわち、海外旅行の催行可能エリアの制約が引き続き機会損失を生じさせております。また、航空会社の変更等による航空券仕入価格の上昇、原油価格上昇による燃油サーチャージの上昇が継続し、加えて、円安傾向の持続・更なる進行によって仕入額の増加をもたらしております。その結果、後述のように当第3四半期連結累計期間の営業損益は前年同期比減益となっております。このような外的要因の影響を受ける一方で、当社は設備投資計画に基づく情報機器の更新を実施するとともに、採用計画を上回る人材採用及び広告宣伝費の増額等、中期経営計画の施策については方向性を変更することなく着実に実行しております。また、円安はインバウンド事業にとって追い風となり、規模は小さいながらも、当第3四半期連結累計期間のインバウンド事業の収益は、前年同期比250%となっております。当事業においては、アジア主要国からの送客に頼る一般的なインバウンドとは一線を画し、当社の強みである170カ国のネットワークを活かした独自のグローバル展開を推進し、欧米豪はもとより、中南米、アフリカを含む全大陸の様々な国からの集客を達成いたしました。それらの成果もあり、当第3四半期連結会計期間の連結営業収益は、対前年同期比35.8%の増収、当第3四半期連結累計期間の連結営業収益は、対前年同期比19.7%の増収となりました。

資本コストや株価を意識した経営の実現のため、中期経営計画を指針としてその実現に努めております。とりわけ、配当政策に関しましては、前連結会計年度末の連結株主資本の10%以上を配当すること（DOE10%以上）を目標と定めるとともに、当連結会計年度の配当について配当予想として公表し（2025年11月6日決算短信）、また予想通りの中間配当を実施しております。

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について公表いたしました2025年7月31日以降の株価は、公表時の株価を上回って推移しております。これは新たな配当政策を含む中期経営計画につき、投資家のみなさまに一定の評価をいただけたからではないかと考えております。

当社グループの収益の根幹をなす人材採用に関しましては、2026年4月の入社人数は前年同期を上回りました。また、2027年4月入社予定の採用活動についても積極的に行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は4,104百万円（前年同期比19.7%増加）、営業損失は49百万円（前年同期は営業利益52百万円）、経常損失は58百万円（前年同期は経常利益67百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は63百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益56百万円）と、前年同期比増収減益の結果となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は3,048百万円、負債合計は1,438百万円、純資産合計は1,610百万円となりました。前連結会計年度末比では、主として配当金及び中間配当金の支払い180百万円、投資有価証券の減少206百万円、営業未払金の増加65百万円、旅行前払金の増加52百万円等により、資産合計は170百万円減、負債合計は63百万円増、純資産合計は234百万円減となり、自己資本比率は52.8%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における連結業績予想につきましては、本日公表いたしました業績予想から変更ありません。また現時点における配当予想に関しましても、2025年11月6日に公表いたしました配当予想から変更ありません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,991,198	2,010,053
営業未収入金	316,043	266,653
貯蔵品	8,100	6,477
旅行前払金	366,512	419,364
未収還付法人税等	-	9,635
その他	56,692	73,644
貸倒引当金	△320	△270
流動資産合計	2,738,228	2,785,558
固定資産		
有形固定資産	15,969	15,752
無形固定資産	13,685	11,359
投資その他の資産		
投資有価証券	206,571	-
繰延税金資産	26,177	15,629
その他	218,381	220,363
投資その他の資産合計	451,130	235,992
固定資産合計	480,785	263,104
資産合計	3,219,014	3,048,662
負債の部		
流動負債		
営業未払金	159,489	225,445
未払法人税等	12,920	-
旅行前受金	976,242	971,371
賞与引当金	30,200	15,450
その他	46,460	71,911
流動負債合計	1,225,312	1,284,178
固定負債		
退職給付に係る負債	149,361	154,172
固定負債合計	149,361	154,172
負債合計	1,374,673	1,438,351
純資産の部		
株主資本		
資本金	312,000	312,000
資本剰余金	175,600	175,600
利益剰余金	1,347,968	1,103,169
自己株式	△19	△19
株主資本合計	1,835,548	1,590,749
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	415	-
繰延ヘッジ損益	8,375	19,561
その他の包括利益累計額合計	8,791	19,561
純資産合計	1,844,340	1,610,311
負債純資産合計	3,219,014	3,048,662

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）
営業収益	3,429,890	4,104,321
営業費用	2,794,772	3,522,031
営業総利益	635,118	582,289
販売費及び一般管理費	582,936	631,706
営業利益又は営業損失（△）	52,181	△49,416
営業外収益		
受取利息	1,327	3,125
受取配当金	3,679	3,654
為替差益	9,156	-
その他	803	2,068
営業外収益合計	14,967	8,847
営業外費用		
為替差損	-	17,460
営業外費用合計	-	17,460
経常利益又は経常損失（△）	67,148	△58,028
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	67,148	△58,028
法人税、住民税及び事業税	7,107	532
法人税等調整額	3,351	5,429
法人税等合計	10,458	5,962
四半期純利益又は四半期純損失（△）	56,690	△63,990
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	56,690	△63,990

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	56,690	△63,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50	△415
繰延ヘッジ損益	27,927	11,185
その他の包括利益合計	27,978	10,769
四半期包括利益	84,668	△53,220
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	84,668	△53,220
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社グループは、海外旅行及び国内旅行並びにこれに関連する旅行傷害保険等のサービスを行う旅行業を営んでおり、単一セグメントであるため記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。

なお、前第3四半期連結累計期間の減価償却費は6,354千円、当第3四半期連結累計期間の減価償却費は7,697千円であります。